

ふるさと納税

太宰府市ふるさと納税オンライン大商談会実施

昨年より開始しましたふるさと納税大商談会を今年は9月28日にオンライン形式にて開催し、市の公式You Tubeチャンネルに撮影動画を公開しています。

今年は、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、オンラインで実施。楠田市長が本市のふるさと納税の取り組みや成果について報告し、新たな返礼品やサービスの募集を呼びかけました。返礼品のご提案やご提供を検討されている事業者の皆さまは、本市のホームページ動画をぜひご覧ください。



取り組みについて話す楠田市長

地域連携

だざいふペイ販売促進キャンペーン

新型コロナウイルスの影響により激減した観光客の復活起爆剤として10月1日から販売開始となった「だざいふペイ（プレミアム付き「キャッシュレス」商品券）」。

10月2日、太宰府ブランド創造協議会（太宰府市商工会、太宰府天満宮、太宰府観光協会、九州国立博物館、太宰府市）に九州電力（株）も加わり、西鉄福岡（天神）駅で販売促進のための周知キャンペーンを行いました。

約30人のスタッフによるチラシなどの配布やテレビ局の取材で、プレミアム率30%の「おトク」な商品券に注目いただきました。



ブランド創造協議会によるキャンペーン

産官学連携

株式会社高橋商店と福岡農業高校が本市を訪問

福岡農業高校の菊芋研究班が9月25日に本市を訪れ、「第9回 ご当地！絶品うまいもん甲子園」の決勝進出を市三役へ報告。予選を勝ち抜いたメニュー「キクイモかき揚げうどん」を試食した楠田市長は、「優勝目指して頑張って！」と生徒へエールを送りました。

また10月7日には、株式会社高橋商店と福岡農業高校の梅研究班が共同開発した梅みやげを、同社から寄贈されました。同校が、本市が提供した梅の収穫から携わり、同社が企画、加工販売をする産官学の連携事業です。商品の一つ「ゆずらん梅^{はいい}」は、令和元年度福岡県6次化商品コンクールで見事に奨励賞を受賞しました。



決勝大会へ参加する同校のメンバー（中央3人）



太宰府の梅を使った加工品を寄贈

タビットデビュー

CM放映記念しトヨタカローラ福岡株式会社が表敬訪問

トヨタカローラ福岡株式会社のCM「あいむくんの福岡ゆる旅／太宰府篇」の放映を記念し9月25日、同社金子護代表取締役社長と西村努営業支援部総合営業企画グループ長、キャラクターのあいむくんが本市を訪れました。

金子社長は「CMが太宰府観光の一助になれば」とおとものタビットの出演オファーの経緯を説明。楠田市長は「息子がデビューする思い。このご縁を今後も共に生かしていけたら」と感謝の意を述べました。現在、CMは民放3局で放映中です。



両キャラクターと共に記念撮影

市民の活躍

岩崎記代子さんが著書「令和の里の歌物語」を寄贈

太宰府市民遺産「太宰府をうたう」全11曲の作曲を手掛けた作曲家で声楽家の岩崎記代子さんが10月7日、これまでの作曲活動についてまとめたエッセイ集「令和の里の歌物語」を出版したことを記念し、同書を本市へ寄贈されました。

岩崎さんは、太宰府をテーマにした作品を多数作り、音楽活動を通じて太宰府の魅力を発信。同書には活動内容の他、曲の紹介や寄稿文なども掲載されています。



岩崎さん（前列左から2番目）と生徒さん（前列）

私のだざいふ

太宰府市スポーツ推進審議会会長

井上 英勝 さん



ここ太宰府の地に生まれ、地域の皆さんに育まれながら60余年が過ぎました。大学進学で4年間だけ地元を離れましたが、住み慣れた太宰府に帰郷して就職。40歳の時に、小学生のわが子がバレーボールを習い始めたのをきっかけに、チーム練習に参加するようになりました。

その頃に、太宰府市スポーツ少年団の本部員に誘われたので引き受け、スポーツ少年団加入チームの交流事業などの企画・運営に関わり、各チームの子どもたち、指導者などとの交流を深めてきました。スポーツ少年団の事業は、家庭や学校では経験できない他の地域・学校などの異年齢・性別の子どもたちとの交流を通して、身体と心を育てる活動をしています。また、各加盟チームでも、そのスポーツの技術向上やフェアプレー精神はもちろんのこと、子どもたちの自主性や自立性などの健全育成にも努められています。

「太宰府市スポーツ少年団は小学生のみなさんの参加をお待ちしています。スポーツ少年団加盟チームでスポーツをしましょう！」

私は、太宰府市スポーツ推進審議会にスポーツ少年団の代表として関わらせていただき、子どもたちのスポーツ環境の改善や推進について提案しています。スポーツ少年団に加入している子どもたちは、運動能力はとても高いことから、小学生の運動能力向上にはとても重要な要因と感じています。

太宰府市においても、少子高齢化の傾向にありますが、いまの小・中学生が、10年後、20年後の太宰府市内のスポーツ推進、生涯スポーツ推進の中心的存在となってくれることを期待しています。

トピックス

民間との連携

西日本鉄道株式会社と太宰府市が包括連携協定を締結

西日本鉄道株式会社と太宰府市は9月16日、包括連携協定を締結しました。

同社とはこれまでさまざまな分野で連携を図ってきましたが、新型コロナウイルスの影響による地域経済へのダメージなどの難局を乗り越え、迅速な課題解決、持続的な発展を図るべく、連携レベルを格上げ強化しました。交通拠点の魅力向上、沿線の活性化、地域経済の振興などを協働し、取り組んでいきます。

Contents

目次

2020年11月1日号

特集

私のだざいふ、トピックス
.....2～3

9月議会楠田大蔵市長冒頭あいさつ
.....4～6

令和元年度太宰府まちづくり
市民意識調査結果7

令和元年度 決算の報告 ...8～12

古都大宰府を彩る
歴史と文化の環境税13

令和元年度新生太宰府元年！
主な事業14～15

国保と健康16～17

令和2年度家族内感染対策事業を
実施しています！18

マイナポイントの申請は
お済みですか？19

令和3年度の個人住民税（市・県民税）
の改正について（前編）20～21

男女共同参画 ～女らしく、男らしく、
いえ私らしく、あなたらしく～
.....22～23

高齢者虐待を正しく知って、
防ぎましょう24

市からのお知らせ25～29

連載30～38

なんでも情報コーナー ...39～47

太宰府の文化財48



西日本鉄道株式会社倉富純男代表取締役
社長執行役員（左）と楠田市長